

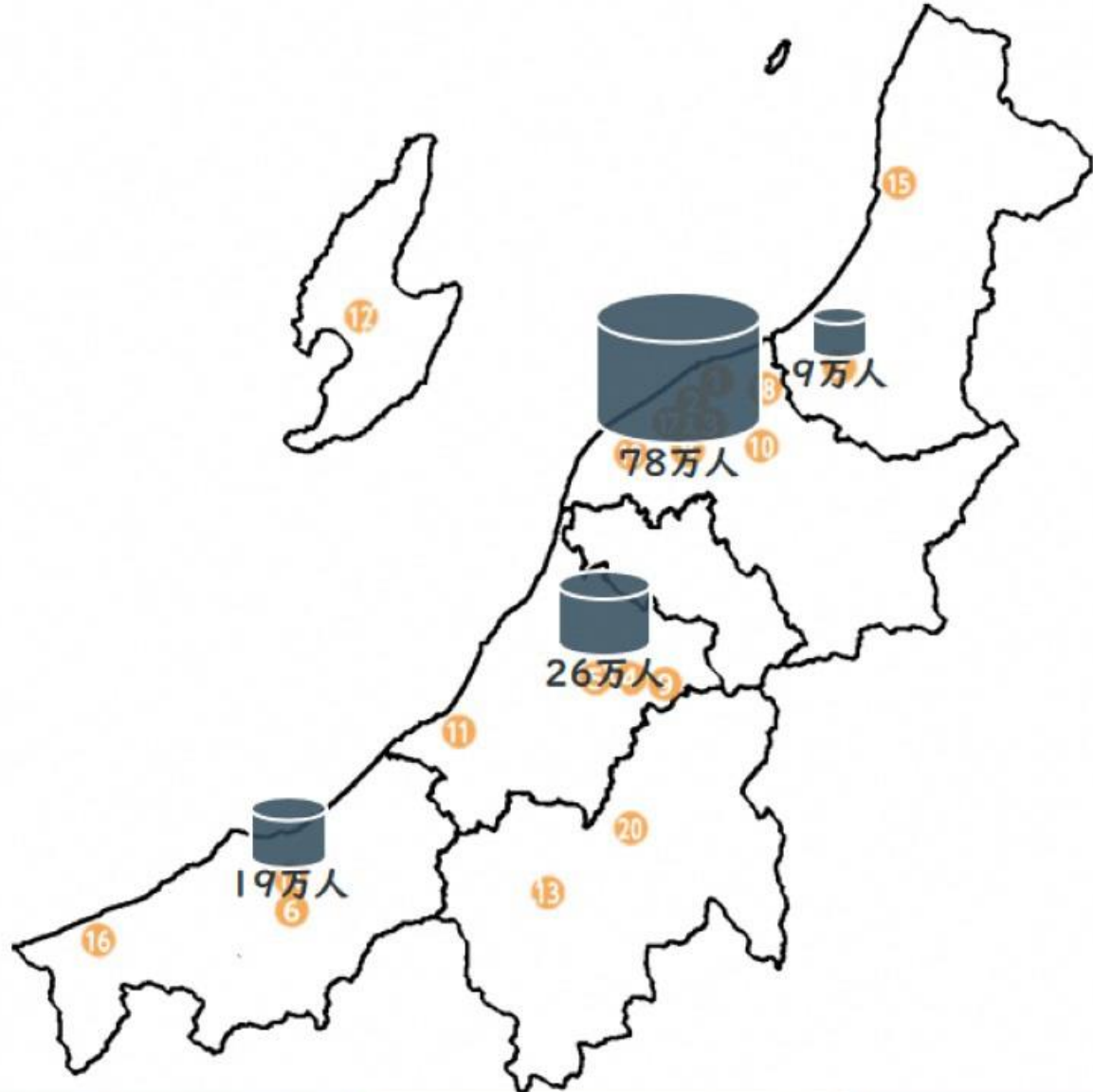
地域枠学生に対する新潟県の卒前支援

新潟県福祉保健部福祉保健総務課 参与
地域医療支援センター長
神田健史

自己紹介

- 平成11年 自治医大卒
- 平成12年 研修中に県担当者に不信 義務年限離脱を検討
- 平成14年 佐渡島で勤務 **地域医療に目覚める**
- 平成17年 新潟県修学資金貸与制度創設にあたり地域医療実習に協力
- 平成20年 自治医大地域医療学講座
- 平成21年 新潟県地域枠創設に伴い毎年夏季実習に講師として参加
- 平成27年 地域枠1期生卒業と同時に新潟県庁へ(2代目地域医療支援センター長)
- 平成29年 クリニックを承継するも地域医療支援センター長は継続
- 現在 地域医療支援センター長7年目

新潟県



南北 330km

人口 約220万人

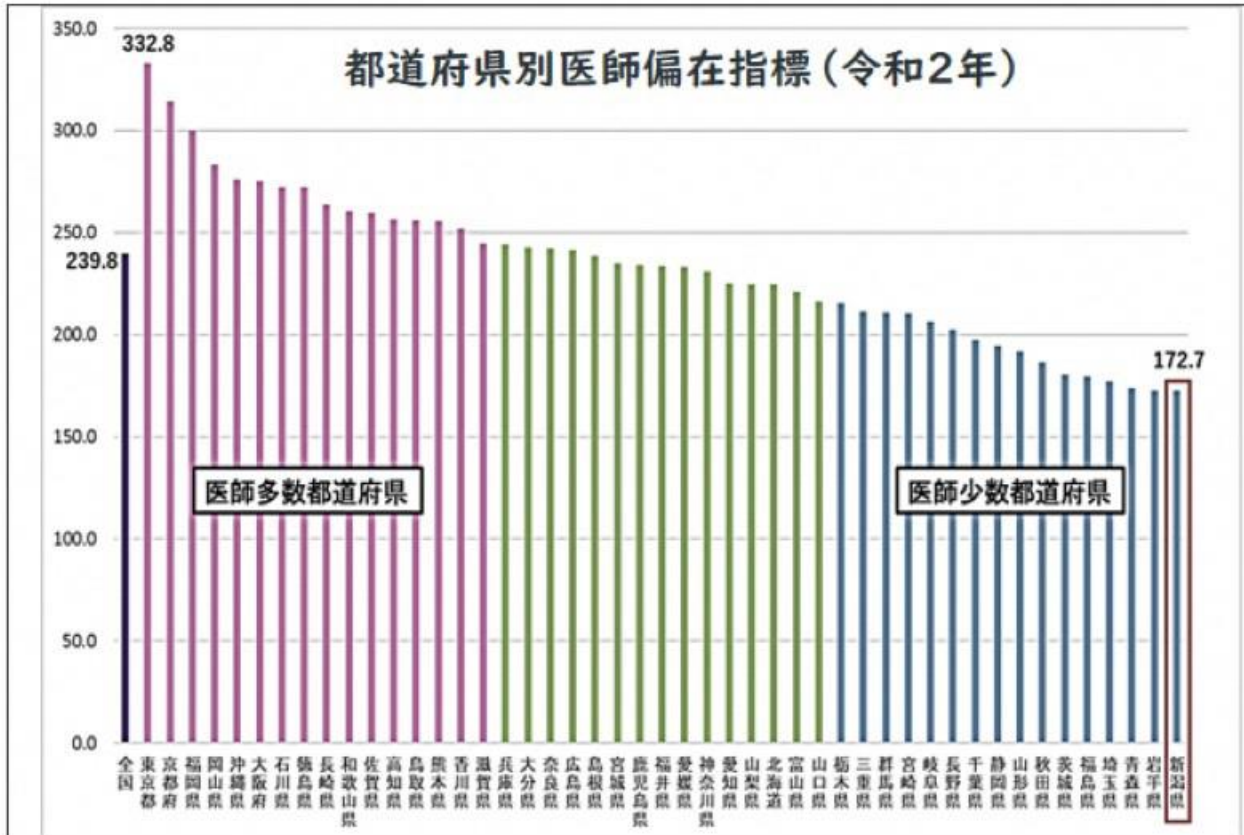
医師数 約4700人

病院数 124

臨床研修病院 20

新潟県は全国一の医師不足県

「医師偏在指標」では、新潟県の全国順位は47位と位置付けられた
 県内7医療圏のうち新潟圏域以外の6医療圏が医師少数区域に位置づけられた



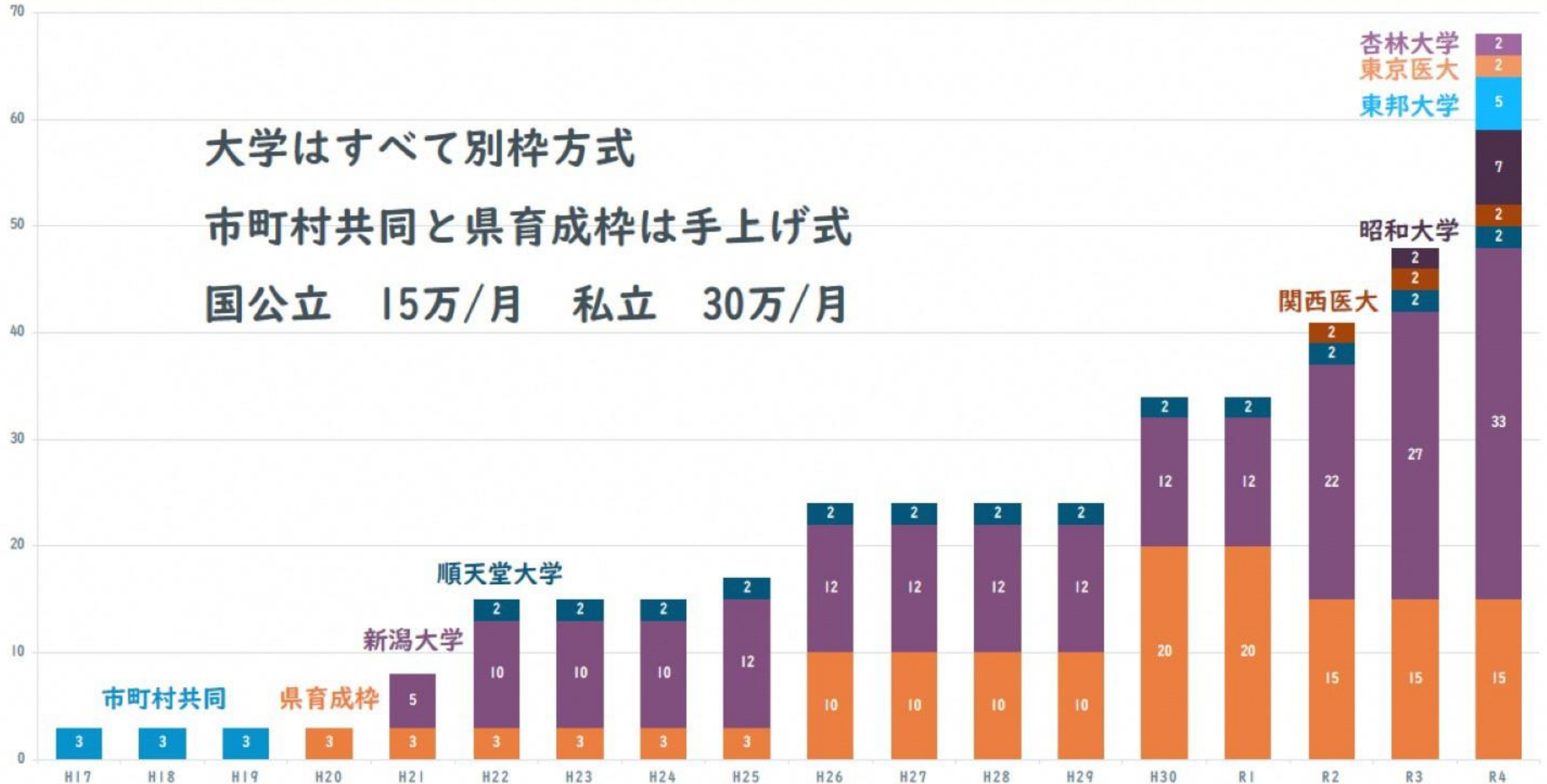
不足医師数

将来時点(2036年時点)における不足医師数等

	不足医師数・過剰医師数		年間不足養成数・過剰養成数	
	都道府県	2次医療圏合計	都道府県	2次医療圏合計
新潟県	-1534	-1540	-108	-109
埼玉県	-1044	-1563	-66	-108
福島県	-804	-990	-32	-47
岩手県	-474	-744	-19	-41
青森県	-439	-684	-17	-37
静岡県	-402	-995	2	-47
秋田県	-204	-479	4	-19
北海道	-188	-1406	-1	-101
山口県	-88	-469	3	-28
長野県	-87	-773	5	-51
群馬県	-51	-1110	9	-78
宮崎県	-8	-469	8	-30
山形県	32	-262	13	-11
栃木県	98	-959	17	-69
島根県	168	-191	26	-4
茨城県	202	-1402	49	-81
鳥取県	216	-152	31	1
富山県	222	-218	27	-9
愛媛県	317	-368	36	-19
山梨県	325	-224	43	-1
三重県	391	-203	46	-3
高知県	452	-130	47	0
香川県	476	-27	49	8



修学資金貸与のある地域枠等数



基本となるキャリアプログラムは柔軟です

- ・勤務先は新潟市を除く**県下全域の全病院**
- ・研修期間を除くと指定勤務は**計5年**
- ・育児中はプログラムの一時停止が可能
- ・大学院進学でプログラムの一時停止が可能
- ・診療科の選択は**自由**
- ・短時間勤務も時間に応じてカウント可能
- ・社会人大学院はいつでも進学可能

○ 県修学生のキャリアプログラムイメージ

年数	医学部在学年数						卒後年数 (勤務指定期間9年間 (貸与6年×1.5))										
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
区分	← 修学資金貸与 (6年間) →						臨床研修		指定勤務 (地域医療)		後期研修			指定勤務			
想定される勤務先及び勤務内容等	医学部医学科6年間 (1~5年生の間、修学生合同の夏季実習に参加し、地域病院を体験)						県内臨床研修病院 (研修プログラムは自由選択)		医師の確保を特に図るべき区域などの病院で、地域医療を主体とした医療に従事し、幅広い診療能力を養成		原則として新潟大学 医歯学総合病院又は 専門研修の基幹施設にて、選択した診療科で高度・多様な症例等を経験する後期研修に従事			医師の確保を特に図るべき区域などの病院で、選択した診療科の医師として経験を積みながら、地域で診療能力を向上			

地域枠等学生・卒業生の状況

35病院 (医師不足圏域等に所在) に配置

全員 (臨床研修終了後医師65名) が専門研修プログラムに登録

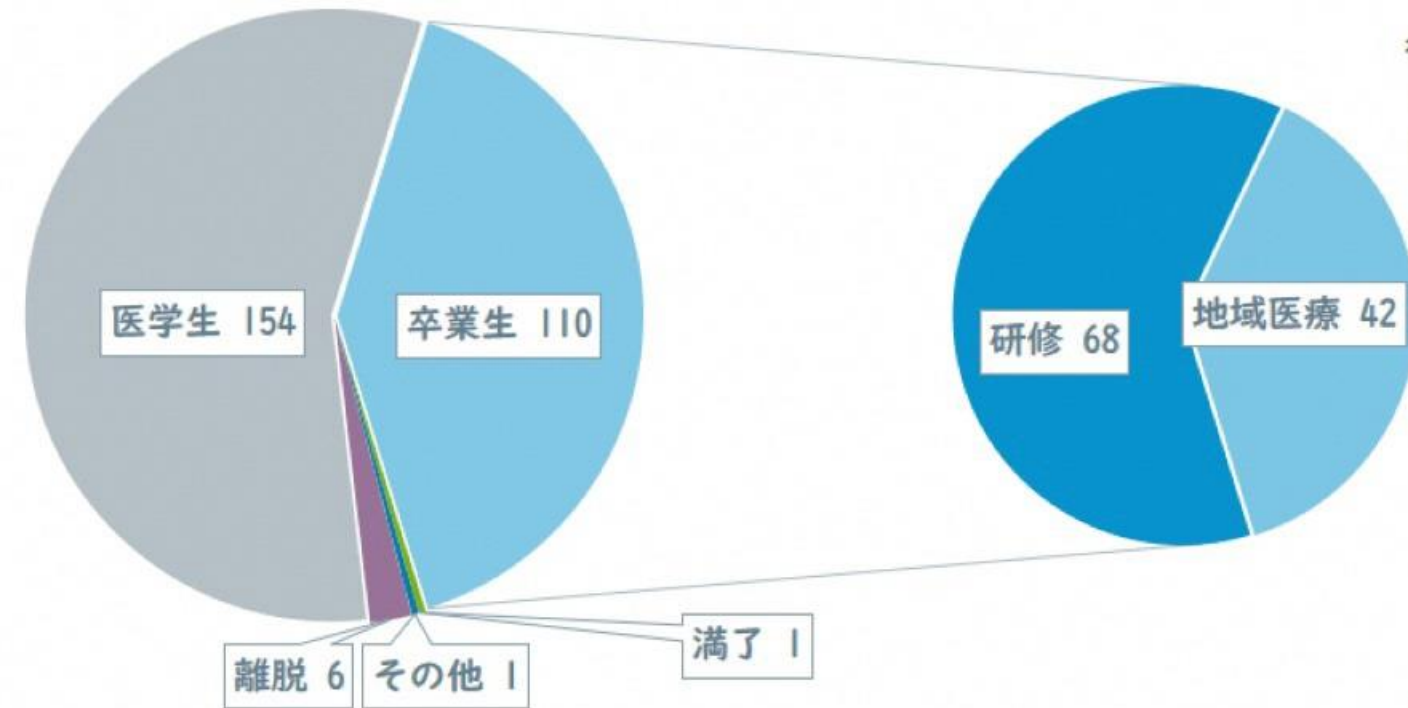
循環器内科、血液・内分泌・代謝内科、腎・膠原病内科、呼吸器内科、消化器内科、脳神経内科、小児科、皮膚科、精神科、消化器外科、心臓血管外科、整形外科、産科婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、麻酔科、救急科、形成外科

92%が入局

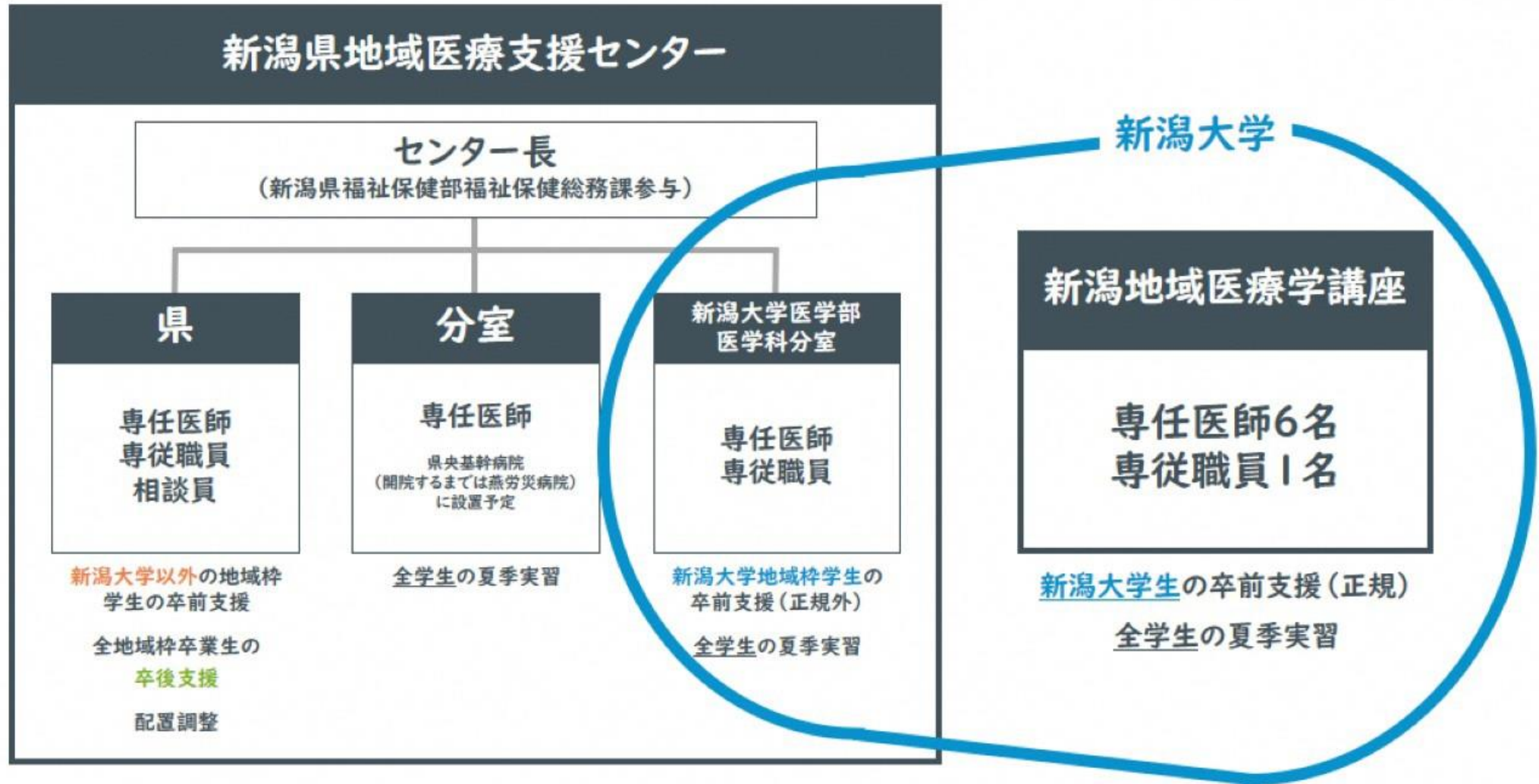
9名が大学院進学

44/110名が結婚 (うち子供あり22名、育休取得7名)

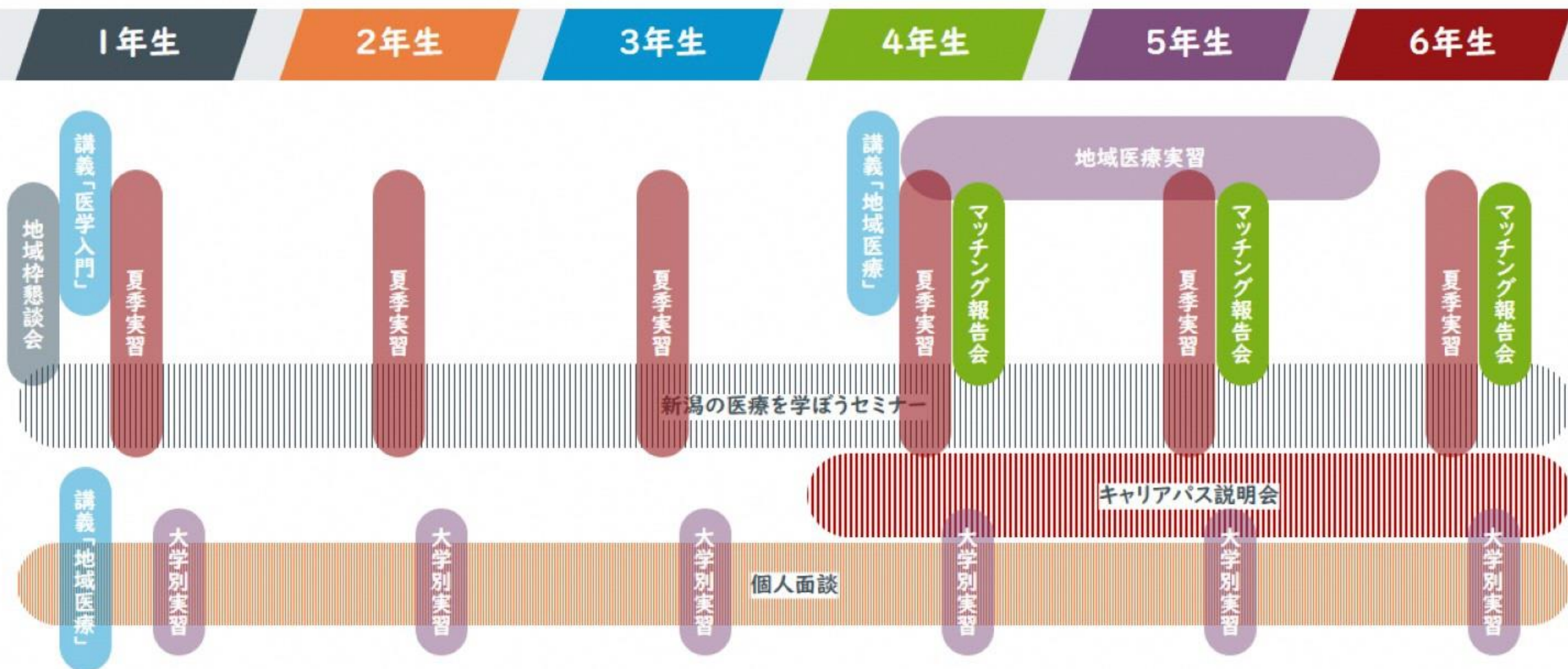
地域枠離脱は**2名のみ** (学力不振で退学1名、医師として勤務できず1名)



寄附講座と地域医療支援センター



卒前取組



講義・実習

新潟地域医療学講座（寄附講座）が担当
地域枠だけでなく**すべての新潟大学生**を対象

講義

- 医学入門「多職種連携・医師の働き方・地域医療」（1年生）
- 臨床実習入門コース「地域医療」（4年生）

実習（県内**医師不足地域**での実習）

- 臨床実習I:地域医療実習（4,5年生・必修）
- 臨床実習II:地域医療実習（5,6年生・選択必修）



夏季実習

新潟県地域医療 夏季実習 2019



医学生募集!

〆切 7月8日(月)

定員に達し次第締め切ります。

全体会

8月17日

5年生

8月16~17日

1~4年生

8月20~21日

6年生も参加可能です!

対象：全国医学部医学生

地域医療支援センター医学科分室が担当

昭和60年頃より自治医科大学生を対象に実施していたもの
平成17年修学資金貸与制度創設により県費修学生も参加
平成21年地域枠創設により新地域枠医学生も参加

実習(宿泊あり)と全体会(講演、グループワーク)の2泊3日

県庁担当者も一緒に合宿

自治医大・地域枠等の他、希望者する全国の医学部生が参加

1年生	5,6名の班ごとに湯沢地域でフィールドワーク(患者さん宅訪問)
2,3年生	2,3名の班ごとに県内医療機関(約40医療機関)で実習
4年生	2,3名の班ごとに佐渡島内の医療機関(約15医療機関)で実習
5年生	5,6名の班ごとに湯沢地域で実習

新医学セミナー

- 地域医療支援センター医学科分室が担当
県医師会も共催
- 地域枠を中心としているが誰でも参加可能
- 学生の自主活動でありテーマ・活動が多彩
ドクターの話を聞いてみたい
 - ・救急医療・災害医療・先輩医師・全国で有名な先生
実習したい
 - ・病院合宿・訪問診療・健康教育
行ってみたい
 - ・学会・自治医大

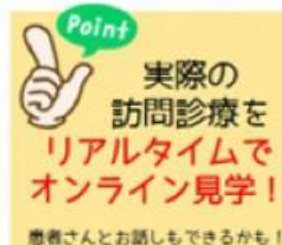


A【事前学習】12月17日(木) 17時30分～18時45分(予定)

- ① 講義「訪問診療とは…」(仮)
KOYANAGI真柄CLINIC・新潟県医師会 理事 小柳 亮 先生
- ② グループディスカッション「訪問診療のイメージは!？」

B【訪問診療オンライン見学】

- ① 12月22日(前半) 13時～14時15分
(後半) 14時15分～15時30分
 - ・ KOYANAGI真柄CLINIC(新潟市南区)
 - ・ 入広瀬診療所(魚沼市)
- ② 12月23日(前半) 13時～15時30分
(後半) 14時15分～15時30分
 - ・ 斎藤内科クリニック(新潟市東区)



①②いずれかの日程に参加頂きます。前半後半どちらかのみでの参加もOKです。都合に合わせて参加ください!

C【まとめ】12月23日(水) 16時～17時30分(予定)

見学して学んだことをまとめてもらい、発表してもらいます!

ABCのすべてに参加いただきたいですが、可能な範囲の参加でも構いません。

今回は「訪問診療」! オンラインでリアルタイムの訪問診療を見学します! 患者さんとお話しするチャンスです! 実際の現場をオンラインで経験しましょう! 低学年の皆さんもぜひご参加ください!



個別面談

県の地域医療支援センターと地域医療支援センター医学科分室とで分担

県の地域医療支援センターは新潟大学以外の**全地域枠学生**と**全地域枠卒業生**を担当

地域医療支援センター医学科分室は**全新潟大学地域枠学生**を担当

6年生時は県の地域医療支援センターの他、**新潟大学医学部長**も同席

○ 学生・卒業生から聞くこと

勉強について

私生活について

制度についての質問

診療科の希望、勤務地の希望

キャリア(専門医、大学院)について

ライフイベント(結婚、子育て)について

勤務の状況について

臨床経験の偏りについて

○ 県から伝えること

制度の説明

「期待と感謝」

キャリアプログラムの説明

入学時懇談会、キャリアパス説明会、夏季実習、個別面談時などに**繰り返し**説明

- 理解できる内容は学年により異なる
- 本人の考えも6年間でかなり変わる

○ 県修学生のキャリアプログラムイメージ

年数	医学部在学年数						卒後年数(勤務指定期間9年間(貸与6年×1.5))										
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
区分	← 修学資金貸与(6年間) →						臨床研修		指定勤務 (地域医療)		後期研修			指定勤務			
想定される勤務先及び勤務内容等	医学部医学科6年間(1~5年生の間、修学生合同の夏季実習に参加し、地域病院を体験)						県内臨床研修病院(研修プログラムは自由選択)		医師の確保を特に図るべき区域などの病院で、地域医療を主体とした医療に従事し、幅広い診療能力を養成		原則として新潟大学医歯学総合病院又は専門研修の基幹施設にて、選択した診療科で高度・多様な症例等を経験する後期研修に従事			医師の確保を特に図るべき区域などの病院で、選択した診療科の医師として経験を積みながら、地域で診療能力を向上			

キャリアパス説明会

地域医療支援センター医学科分室が調整
地域枠等の上級生が対象

新潟県内の全専門研修プログラム（約40プログラム）を説明
各医局・各プログラム責任者等から具体的な**各科毎のキャリアパス**を説明
2～3年かけて一巡

各医局等で県のキャリアプログラムを基に**地域枠等用のキャリアパス**を用意

- 配置される病院の候補
- 習得できる手技
- 取得できる資格等
- **地域枠等以外と比べてキャリア形成に差がないこと**

奨学金貸与医師(地域枠B)②

*記載の病院は例示であり、具体的な配置先は本人の希望・地域のニーズ等も踏まえながら、県が決定します



脳神経外科研修スケジュール



配置検討(例)

○○ 医師
(H21新大地域枠B)

●● 医師
(H21県外医学生枠)

本人の希望

小児科

- 地域医療に従事しつつ、専門領域において幅広く経験を積みたい
- ・(○○医師) 配偶者は新潟市内に勤務予定、可能であれば同居したい
- ・(●●医師) 配偶者(地域枠)が日赤に勤務予定、可能であれば同居したい

配置候補病院	小児科医数	配置候補病院	小児科医数
県立新発田病院	10人	立川総合病院	5人
長岡赤十字病院	9人	佐渡総合病院	4人
長岡中央総合病院	6人	済生会三条病院	3人
魚沼基幹病院	6人	上越総合病院	2人
県立中央病院	6人	糸魚川総合病院	2人

大学医局の意見

- ・指導体制が整っている病院へ配置しつつ、地域・医療圏のニーズにも応えられるようにしたい
- ・プライベートの面も十分に配慮をお願いしたい

○○ 医師
済生会三条病院

●● 医師
長岡赤十字病院

地域医療対策協議会で一人一人検討している

大学各医局との関係

地域枠医師等を**しっかり育てる**という目標を共有

- 教授会
- 全教員懇談会での講演
- **毎年対面での説明**（教授、医局長、プログラム責任者）

意識していること

情報発信

柔軟なキャリアプロと安心できる現場であることを伝える

大学医局との一体感

大学医局の先生からも同じ話をしてもらう

一歩踏み込んだ面談

キャリア等への不安に寄り添いつつ期待と感謝を伝える

偏りなく

「〇〇大学だけ」、「地域枠だけ」にならないよう

 hank  ou!

新潟県福祉保健部福祉保健総務課 参与 神田健史

 kanda.takefumi@pref.niigata.lg.jp